

けゆき

たすき



# 榊の榊

「学校教育目標」  
 絆を深め、地域社会に貢献  
 できる生徒の育成  
 ○自ら学ぶ ○思いやる  
 ○体を鍛える

文責 竹田 圭志

## 北方領土視察研修報告会

7月29日(月)から8月1日(木)までの3泊4日、北方領土視察研修に参加した1年生男子、2年生女子が、10月29日(火)の学校朝会で視察研修の報告をしました。

初めに、北方領土問題がどのようないきさつで生まれ、現在はどのような状況であるかをスライド資料を用いてわかりやすく説明してくれました。次に、実際の研修でどんなことを学んだり体験したかを写真を用いながら説明をしてくれました。元島民の方による講義や現地高校生との意見交換など、内容は中学生には難しかったようですが、体験したことの重みをしっかりと報告してくれました。

2人の話の中に、「今ではとっても仲良くなっているロシアとの関係の中に、このような問題もあることを知って驚いた」「今、私たちにできることは何なのかを考えていきたい」とありました。戦争がもたらした悲劇が今でも爪痕として残っていることを改めて考えさせられました。

貴重な体験をわかりやすく伝えてくれて、色々なことを考えるきっかけを作ってくれた2人に感謝します。



堂々とした見事なプレゼンでした



## 彩の国教育の日学校公開

10月31日(木)“彩の国教育の日”学校公開・総合的な学習発表会を実施しました。保護者の皆様並びに地域の皆様には、ご多用の中、ご参会いただきありがとうございます。

昨年度は、午後の公開は、「立志式」として2年生の発表のみでしたが、今年度は、全ての学年の「総合的な学習の時間」の取組を公開しました。

3年生は、地域のサークルの皆様のご指導のもと、グランドゴルフの体験で楽しい時間を過ごしました。慣れない手つきながらも、時折びっくりするようなナイスショットが飛び出すなど、終始、笑顔で楽しい時間を高齢者の皆様と過ごすことができました。



立志～夢を語る会～保護者の皆様もリラックスして参観できたと好評だったようです。



指導者の皆さんのテクニクに脱帽です。



人前で自分の考えを伝える 相当な自信と覚悟が必要です。

2年生は、多目的室で「立志 ～夢を語る会～」を実施しました。昨年度の立志式ほど厳格な行事ではなくなりましたが、ほどよい緊張感の中、級友や保護者の前で「将来の夢」を熱く語りました。2年生だけでなく他学年の保護者の皆様にも聞いていただけたことを嬉しく思います。また、「話し方講座」でお世話になった小川高校の谷野先生がお見えになり、目を細めながら聞いてくださいました。

1年生の郷土学習発表会「小川町を知ろう(発見!小川町)」では、生徒が10のグループに分かれ、小川町の産業や文化・歴史について調べ学習をした結果を模造紙にまとめて発表してくれました。ユニークな質問も出て、さらに知識が深められました。

どの学年の取組も、本校生徒の「思い」が伝わる素晴らしい行事になったと思います。



七夕まつりの屋台で一番人気は何の屋台でしょう?

今回、県教育委員会が展開する「学校と地域の未来を創ろう!プロジェクト」のモデル事業「おがわ学」に関連する行事とのうわさが流れたのでしょうか、県教育局生涯学習推進課からおいでいただいた2名の指導主事の皆様、小川高校の菑塚校長先生をはじめ、関係する多くの皆様に足を運んでいただきました。

## 教師も日々勉強です（授業研究会）

10月25日（金）に比企地区中学校体育授業研究会が本校を会場に開かれました。比企地区内外の中学校保健体育科の先生方、小川班内の小学校の先生方総勢30名以上をお招きして、齋藤晋教諭・小出教諭の指導による3年1組の保健体育授業（単元：体づくり運動）を参観していただきました。その後、参観された先生方で話し合いをもち、ご指導をいただきました。



グループで出たアイデア(トレーニングメニュー)を試しています。



4人組で意見を出し合ってから、グループで出た意見を整理します。

また、10月28日（月）は、校内の研修会として、埼玉県道德授業「匠の技」伝承事業講師（寄居町教育委員会道德教育専任講師）の鴻野年伸先生を指導者にお招きして、沼倉教諭の指導による2年1組の道德授業を全教員が参観し、その後、意見交換しながら研修を深めました。

どちらの授業も、生徒の話し合いや教え合いが効果的に展開され、「対話を通じた協働作業」を積極的に取り入れていた点が大きく評価されました。また、教材教具などを含め、学習環境づくりが工夫されていた点もよかったです。

これからの授業は、どの教科も共通して、①主体的な学び（生徒自身が学習活動を見通し、振り返り、解決していこうとすること） ②対話的な学び（生徒同士の学び合いなど、他者と協働することなどによって自己の考えを広げ深めること） ③深い学び（見方・考え方を働かせて、より深く理解したり考えを形成したりすること）が大切とされます。保護者の皆様が中学校時代に体験した授業形態から今の授業は大きく様変わりしています（教師の説明を「聞く時間が大半」の講義型授業や、「教師の指示通りに動く」ことが重視された授業がまだまだ多かったのではないのでしょうか？）。当然、教師側にも大きな意識改革・授業改善が求められているところです。

11月下旬には、26日（火）に小川班数学授業研究会（1年1組：吉本教諭・三戸教諭）、27日（水）に比企地区英語授業研究会（2年1組：齊藤博教諭）が計画されています。

本校教員は、「わかる授業」「楽しい授業」に向け、日々努力しています。

## 【榎台中生徒の活躍】

埼玉県産業教育振興会比企支部第74回珠算競技大会

個人の部 優良賞 3年女子生徒

比企地区英語弁論大会 3年女子生徒

比企地区発明創意くふう展ならびに研究発表会

優良賞「ピタッとかさたて」1年女子生徒

「ブラインドクリーナー」2年女子生徒

「泥水はね防止カバー」2年男子生徒

小川班教育研究会読書感想文コンクール

入選 1年女子生徒、2年女子生徒、3年女子生徒

埼玉県科学教育振興展覧会比企地区展

優秀賞「夏の気象事例と気象図の自己解析 めざせ！気象予報士 Part5」2年女子生徒

優秀賞「火山についておいしく知ろう！」3年女子生徒

優良賞「普通じゃない！バイオリンニスのふしぎ」2年女子生徒

第54回郷土を描く児童生徒美術展

入選「緑の中の赤い神社」1年女子生徒

「水が映す郷土」2年男子生徒

身体障害者福祉のための埼玉県児童生徒美術展

（比企地区展）

入選「王妃の退屈な一日」1年女子生徒

「雅なこころ」3年女子生徒

「9番打者の役割」3年男子生徒



10月20日（日）「みどりが丘まつり」吹奏楽部が地域の皆様に演奏を披露



けやき学級の生徒が教頭先生と一緒に落ち葉を堆肥にするコンポストを作成してくれました。電動ドライバーの扱いは難しいです。